

安全データシート

アトカラ®S ジャンボ MX

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

作成日: 2016/11/16 改訂日: 2024/10/01

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : アトカラ®S ジャンボ MX
整理番号 : AGA10316Ja_07

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 : 農薬(除草剤)
使用上の制限 : 推奨用途以外への使用は禁止する

会社情報

供給者の会社名称

三井化学クロップ&ライフソリューション株式会社
国内マーケティング部
東京都中央区日本橋一丁目 19 番 1 号
T 03-5290-2740 - F 03-3231-1176

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

健康有害性	急性毒性(吸入:粉じん、ミスト)	区分 4
	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分 2B
	生殖細胞変異原性	区分 2
	発がん性	区分 1A
	生殖毒性(授乳に対する又は授乳を介した影響)	追加区分
	特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分 2(肺/呼吸器系, 消化管)
	特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分 3(気道刺激性)
	特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分 1(皮膚, 肺/呼吸器系, 免疫系, 腎臓)
環境有害性	水生環境有害性 短期(急性)	区分 3
	水生環境有害性 長期(慢性)	区分 2

*記載のないものは区分に該当しない、あるいは分類できない。

ラベル要素

絵表示 (GHS JP)



注意喚起語 (GHS JP)

: 危険

安全データシート

アトカラ[®]S ジャンボ MX

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

危険有害性 (GHS JP)	: 眼刺激(H320) 吸入すると有害(H332) 呼吸器への刺激のおそれ(H335) 遺伝性疾患のおそれの疑い(H341) 発がんのおそれ(H350) 授乳中の子に害を及ぼすおそれ(H362) 臓器の障害のおそれ (肺／呼吸器系、消化管)(H371) 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害 (皮膚、肺／呼吸器系、免疫系、腎臓)(H372) 水生生物に有害(H402) 長期継続的影響によって水生生物に毒性(H411)
注意書き (GHS JP)	
安全対策	: 使用前に取扱説明書を入手すること。(P201) 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。(P202) 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。(P260) 妊娠中及び授乳期中は接触を避けること。(P263) 取扱い後は手、前腕および顔をよく洗うこと。(P264) この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。(P270) 屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。(P271) 環境への放出を避けること。(P273) 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。(P280)
応急措置	: 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 (P304+P340) 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。(P305+P351+P338) ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師に連絡すること。(P308+P311) ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師の診察／手当てを受けること。(P308+P313) 気分が悪いときは医師に連絡すること。(P312) 気分が悪いときは、医師の診察／手当てを受けること。(P314) 眼の刺激が続く場合: 医師の診察／手当てを受けること。(P337+P313) 漏出物を回収すること。(P391)
保管	: 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。(P403+P233) 施錠して保管すること。(P405)
廃棄	: 内容物／容器を国際、国、都道府県又は市町村の規則に従って廃棄すること。(P501)

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別	: 混合物
化学名	: 1-(4, 6-ジメトキシピリミジン-2-イル)-3-[1-メチル-4-(2-メチル-2H-テトラゾール-5-イル)ピラゾール-5-イルスルホニル]尿素／3-(2, 2-ジフルオロエトキシ)-N-(5, 8-ジメトキシ[1, 2, 4]トリアゾロ[1, 5-c]ピリミジン-2-イル)- α , α , α -トリフルオロトルエン-2-スルホンアミド／2-(4-メシル-2-ニトロベンゾイル)シクロヘキサ-1, 3-ジオン混合物
別名	: アジムスルフロン／ペノキスラム／メソトリオン製剤

安全データシート

アトカラ[®]S ジャンボ MX

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

名前	濃度 (%)	官報公示整理番号		CAS 番号
		化審法番号	安衛法番号	
アジムスルフロン	0.36	－	8-(2)-1691	120162-55-2
ペノキスラム	0.36	－	8-(2)-2564	219714-96-2
メソトリオン	2.0	－	7-(4)-1262	104206-82-8
鉱物質細粒、結合剤等	97.28			
石油系炭化水素（鉱油）	42	－	－	8012-95-1
二酸化ケイ素	22	(1)-548	既存化学物質	7631-86-9
酸化鉄	1.9	(1)-357,(5)-5188	既存化学物質	1309-37-1
酸化カルシウム	1.9	(1)-189	既存化学物質	1305-78-8
酸化マグネシウム	9.2	(1)-465	既存化学物質	1309-48-4
芒硝	4.0	(1)-501	既存化学物質	7757-82-6
ジオクチルスルホサクシネートナトリウム塩	1.4	(2)-1620,(2)-1623	2-(4)-384,2-(4)-692	577-11-7

4. 応急措置

応急措置

吸入した場合	： 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 ： 気分が悪いときは医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合	： 汚染された衣類、靴等を速やかに脱ぐこと。 ： 皮膚は多量の水で洗浄する。 ： 外観に変化が見られたり痛みが続く場合には、医師の診断／手当てを受けること。
眼に入った場合	： 直ちに清浄な水で数分間注意深く洗うこと。 ： 洗眼の際、まぶたを指でよく開いて、眼球、まぶたのすみずみまで水が行きわたるように洗浄すること。 ： コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 ： 眼の刺激が続く場合：医師の診断／手当てを受けること。
飲み込んだ場合	： 水で口の中を洗浄し、直ちに医師の診断／手当てを受けること。 ： 被災者に意識のない場合は、口から何も与えてはならない。 ： 毛布等で保温して安静に保つこと。
応急措置をする者の保護	： 救助者は有害物質に触れないよう、適切な保護具を着用すること。
医師に対する特別な注意事項 その他の医学的アドバイスまたは治療	： 対症的に治療すること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤	： 水噴霧、乾燥粉末消火剤、泡消火剤、砂
使ってはならない消火剤	： 強い水流は使用しない。

安全データシート

アトカラ[®]S ジャンボ MX

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

- 消火方法
- ： 安全な距離と保護された場所から消火活動を行う。
 - 呼吸器の保護を含め、適切な保護装置を使用せず、火災現場に入らない。
 - 火災発生場所の周辺に、関係者以外の立ち入りを禁止すること。
 - 危険なくできる時は、燃焼の供給源を速やかに止めること。
 - 移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移すこと。
 - 容器、周囲の設備等に散水して冷却すること。
 - 消火活動は、可能な限り風上から行うこと。
- 消火時の保護具
- ： 適切な保護具を着用して作業する。
 - 自給式呼吸器。
 - 完全防護服。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置

- 一般的措置
- ： 本製品が下水、または公共用水に流入した場合も、行政当局に通報する。
 - 物的被害を防止するためにも流出したものを吸収すること。

非緊急対応者

- 保護具
- ： 推奨される個人用保護具を着用する。
- 応急処置
- ： 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。

緊急対応者

- 保護具
- ： 適切な保護具を着用して作業する。
 - 詳細については、第 8 項の「ばく露防止及び保護措置」を参照。
 - 漏出物との接触及び吸入を避けること。
- 応急処置
- ： 不要な職員を退避させる。

環境に対する注意事項

- 環境に対する注意事項
- ： 環境への放出を避けること。
 - 本製品が下水、または公共用水に流入した場合も、行政当局に通報する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

- 封じ込め方法
- ： 漏出したものをすくいとり、又は掃き集めてドラム等に回収すること。
- 浄化方法
- ： 本製品が下水、または公共用水に流入した場合も、行政当局に通報する。
- 二次災害の防止策
- ： 付近の着火源となるものを速やかに取り除くこと。
 - 危険なくできる時は、漏出源を遮断し、漏れを止めること。
- その他の情報
- ： 物質または固形残留物は公認施設で廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 技術的対策
- ： 作業所の十分な換気を確保する。
 - 屋内で取り扱う場合は、「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行う。

安全データシート

アトカラ[®]S ジャンボ MX

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

安全取扱注意事項	： 使用前に取扱説明書を入手すること。 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。 作業場における製品の放出を避けるため、または最小限にするため、技術的に必要なあらゆる措置をとる。 取り扱う製品数は必要最小限にし、ばく露使用者の人数を最小限に抑える。 部屋の排気および全般的な換気を確保する。 個人用保護具を着用する。 危険エリア内の床、壁、その他の表面は定期的に清掃しなければならない。 妊娠中／授乳期中は接触を避けること。 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。 皮膚、眼との接触を避ける。 容器を転倒、落下させ、衝撃を加える、又は引きずる等の乱暴な取扱いをしないこと。
接触回避	： 「10. 安定性及び反応性」記載の混触危険物質との接触及び保管を避けること。
衛生対策	： 作業服と外出着とを分ける。個別に洗う。 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。 休憩場所には、手洗い、洗眼等の設備を設け、取扱い後に手、顔等をよく洗うこと。手袋等の汚染された保護具を持ち込まないこと。
保管	
安全な保管条件	： 施錠して保管すること。 換気の良い場所で保管すること。 容器を密閉しておくこと。 食品、飲料、動物用飼料とは区別して保管すること。
安全な容器包装材料	： はり合わせアルミはく袋等。
技術的対策	： 涼しくて、よく換気された場所で、熱から離して保存する。
容器包装材料	： 製品は必ず元の容器と同じ素材の容器に保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

酸化鉄 (1309-37-1)	
日本 - ばく露限界値 (日本産業衛生学会)	
現地名	第 2 種粉塵 (結晶質シリカ含有率 3% 未満の鉱物性粉塵, 酸化鉄) # Dusts Class 2 (Dusts containing less than 3% crystalline silica, Iron oxide)
許容濃度	1 mg/m ³ 吸入性粉塵 4 mg/m ³ 総粉塵

設備対策	： 作業所の十分な換気を確保する、屋内で取り扱う場合には、局所排気装置および／または全体換気装置を使用する。 取り扱う場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設ける。
保護具	
個人用保護具	： 推奨される個人用保護具を着用する。
呼吸用保護具	： 防毒マスク(シアン化水素(青酸)用吸収缶)、農薬用マスク
手の保護具	： 保護用手袋(不浸透性)
眼の保護具	： 保護眼鏡、ゴーグル、保護面
皮膚及び身体の保護具	： 適切な保護衣を着用する、保護帽子、保護服(不浸透性)、保護長靴等
環境へのばく露の制限と監視	： 環境への放出を避けること。

安全データシート

アトカラ®S ジャンボ MX

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	: 固体
外観	: 細粒、水溶性パック入り
色	: 淡褐色
臭い	: データなし
pH	: 3.57 (1%)
融点	: データなし
凝固点	: データなし
沸点	: データなし
引火点	: 187.5 °C (セタ密閉式)
自然発火点	: データなし
分解温度	: データなし
可燃性	: 可燃性固体の区分には該当しない
蒸気圧	: データなし
相対密度	: 0.391 (見掛け比重)
密度	: データなし
相対ガス密度	: データなし
溶解度	: データなし
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	: データなし
爆発限界 (vol %)	: データなし
動粘性率	: データなし
粒子特性	: 粒径分布: 60 – 2800 µm (粒径範囲)
追加情報	: 燃焼熱量 21.15 kJ/g

10. 安定性及び反応性

反応性	: 通常の使用、保管、運送の状況下では、当製品は反応しません。
化学的安定性	: 通常の下では安定。
危険有害反応可能性	: データなし
避けるべき条件	: 推奨の保存条件及び取扱条件の下では何もありません(第7項参照)。
混触危険物質	: データなし
危険有害な分解生成物	: 燃焼時、有害ガスを発生する。

11. 有害性情報

急性毒性 (経口)	: 区分に該当しない
急性毒性 (経皮)	: 区分に該当しない
急性毒性 (吸入)	: 区分に該当しない(分類対象外) (気体) 区分に該当しない(分類対象外) (蒸気) 吸入すると有害

アトカラ®S ジャンボ MX	
LD50 経口 ラット	> 2000 mg/kg (雌)
LD50 経皮 ラット	> 2000 mg/kg
ATE JP (粉じん、ミスト)	3.597 mg/L/4h

安全データシート

アトカラ[®]S ジャンボ MX

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

アジムスルフロン	
LD50 経口 ラット	> 5000 mg/kg
LD50 経皮 ラット	> 2000 mg/kg
LC50 吸入 - ラット (粉じん / ミスト)	> 5.94 mg/L/4h
ペノキスラム	
LD50 経口 ラット	> 5000 mg/kg
LD50 経皮 ウサギ	> 5000 mg/kg
LC50 吸入 - ラット (粉じん / ミスト)	> 3.50 mg/L/4h [分類できない]
メトリオン	
LD50 経口 ラット	> 5000 mg/kg
LD50 経皮 ラット	> 2000 mg/kg
LC50 吸入 - ラット (粉じん / ミスト)	> 4.75 mg/L/4h
石油系炭化水素(鉱油)	
急性毒性 (吸入:気体)	常温で液体である。
急性毒性 (吸入:蒸気)	データなし
LD50 経口	5000 mg/kg
LD50 経皮	5000 mg/kg
LC50 吸入 - ラット (粉じん / ミスト)	2.18 mg/L/4h [区分 4]
二酸化ケイ素	
急性毒性 (経口)	区分外
急性毒性 (経皮)	ウサギの LD50 値として、> 2,000 mg/kg (シリカゲル) 及び > 5,000 mg/kg (沈降シリカ) (ECETOC JACC (2006)、SIDS (2006)) との報告に基づき、区分外とした。
急性毒性 (吸入:気体)	GHS の定義における固体である。
急性毒性 (吸入:蒸気)	GHS の定義における固体である。
急性毒性 (吸入:粉じん、ミスト)	データ不足のため分類できない。
酸化鉄	
急性毒性 (経口)	区分に該当しない。ラットの LD50:> 15,000 mg/kg (JECFA FAS6 (1975))(2) ラットの LD50:> 10,000 mg/kg (HSDB (Access on July 2019))
急性毒性 (経皮)	データ不足のため分類できない。
急性毒性 (吸入:気体)	GHS の定義における固体である。
急性毒性 (吸入:蒸気)	GHS の定義における固体である。
急性毒性 (吸入:粉じん、ミスト)	区分に該当しない。ラットの吸入ばく露 (4 時間、粉じん) : > 5.05 mg/L で死亡なし (REACH 登録情報 (Access on August 2019))

安全データシート

アトカラ[®]S ジャンボ MX

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

酸化カルシウム	
急性毒性 (経口)	ラットの LD50 値として、5,000 mg/kg、5,916 mg/kg (食品安全委員会添加物評価書 (2013)) の報告に基づき、区分外 (国連分類基準の区分 5) とした。
急性毒性 (経皮)	データ不足のため分類できない。
急性毒性 (吸入:気体)	GHS の定義における固体である。
急性毒性 (吸入:蒸気)	GHS の定義における固体である。
急性毒性 (吸入:粉じん、ミスト)	データ不足のため分類できない。
酸化マグネシウム	
急性毒性 (経口)	ラットの LD50 値 3,870 mg/kg (雄)、3,990 mg/kg (雌) (HSDB (Access on June 2015)) に基づき、区分外 (国連分類基準の区分 5) とした。
急性毒性 (経皮)	データ不足のため分類できない。
急性毒性 (吸入:気体)	GHS の定義における固体である。
急性毒性 (吸入:蒸気)	GHS の定義における固体である。
急性毒性 (吸入:粉じん、ミスト)	データ不足のため分類できない。
芒硝	
急性毒性 (経口)	区分に該当しない。ラット LD50: > 10,000 mg/kg (SIDS (2006))
急性毒性 (経皮)	データ不足のため分類できない。
急性毒性 (吸入:気体)	GHS の定義における固体である。
急性毒性 (吸入:蒸気)	GHS の定義における固体である。
急性毒性 (吸入:粉じん、ミスト)	データ不足のため分類できない。
ジオクチルスルホサキシネートナトリウム塩	
急性毒性 (吸入:気体)	GHS の定義における固体である。
急性毒性 (吸入:蒸気)	データなし
急性毒性 (吸入:粉じん、ミスト)	データなし
LD50 経口	3080 mg/kg
LD50 経皮	10000 mg/kg
皮膚腐食性／刺激性	: 区分に該当しない ウサギ 軽度刺激性 紅斑 5 日後までに消失
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	: 眼刺激 ウサギ 中等度刺激性 虹彩炎 72 時間後までに消失、角膜混濁 96 時間後までに消失 結膜発赤及び浮腫 6 日後までに消失
呼吸器感作性	: 分類できない
石油系炭化水素 (鉱油)	
呼吸器感作性	データなし

安全データシート

アトカラ[®]S ジャンボ MX

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

二酸化ケイ素	
呼吸器感作性	データ不足のため分類できない。
酸化鉄	
呼吸器感作性	データ不足のため分類できない。
酸化カルシウム	
呼吸器感作性	データがなく分類できない。
酸化マグネシウム	
呼吸器感作性	データ不足のため分類できない。
芒硝	
呼吸器感作性	データ不足のため分類できない。
ジオクチルスルホサキシネートナトリウム塩	
呼吸器感作性	データなし
皮膚感作性	: 区分に該当しない モルモット 陰性
生殖細胞変異原性	: 遺伝性疾患のおそれの疑い
アジムスルフロン	
生殖細胞変異原性	動物実験では遺伝子の突然変異への影響は無かった。
ペノキスラム	
生殖細胞変異原性	In vitro での遺伝毒性試験 陰性。動物遺伝毒性試験 陰性。
メントリオン	
生殖細胞変異原性	動物実験において遺伝子の突然変異への影響はなかった。
石油系炭化水素(鉱油)	
生殖細胞変異原性	ラットを用いた細胞遺伝学的試験[染色体異常試験](体細胞 in vivo 変異原性試験)における異常細胞の増加(IUCLID(2000))に加え、職業暴露を受けたヒトの末梢血リンパ球で染色体異常の頻度増加が観察された(IARC suppl.7(1987))こと、および生殖細胞 in vivo 遺伝毒性試験の情報がないことに基づき区分 2 とした。
二酸化ケイ素	
生殖細胞変異原性	データ不足のため分類できない。
酸化鉄	
生殖細胞変異原性	in vivo、in vitro 試験ともに陰性知見が認められたことから、区分に該当しない。
酸化カルシウム	
生殖細胞変異原性	データ不足のため分類できない。
酸化マグネシウム	
生殖細胞変異原性	データ不足のため分類できない。
芒硝	
生殖細胞変異原性	区分に該当しない

安全データシート

アトカラ[®]S ジャンボ MX

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

ジオクチルスルホサキシネートナトリウム塩	
生殖細胞変異原性	データ不足のため分類できない。
発がん性 : 発がんのおそれ	
アジムスルフロン	
発がん性	動物実験においては発ガン効果は発現しなかった。
ペノキスラム	
発がん性	動物試験では発がん性はなかった。
メソトリオン	
発がん性	動物実験では発がん性への影響は見られなかった。
石油系炭化水素(鉱油)	
発がん性	区分 1A
二酸化ケイ素	
発がん性	本 CAS 番号が示す物質群はシリカ (SiO ₂) で、シリカの全形態が包含される (EOETOC JACC No. 51 (2006))。すなわち、本物質群には結晶質シリカが含まれ、その発がん性分類結果が適用可能と考えられることから、本項は区分 1A とした。
酸化鉄	
発がん性	データ不足のため分類できない。
酸化カルシウム	
発がん性	データ不足のため分類できない。
酸化マグネシウム	
発がん性	データ不足のため分類できない。
芒硝	
発がん性	データ不足のため分類できない。
ジオクチルスルホサキシネートナトリウム塩	
発がん性	データなし
生殖毒性 : 分類できない 授乳中の子に害を及ぼすおそれ	
アジムスルフロン	
生殖毒性	動物実験では繁殖力への影響は無く、催奇形性も示さなかった。
ペノキスラム	
生殖毒性	動物試験では、生殖を阻害しなかった。 母体に毒性影響を起こした摂取量でも、催奇形性や他の胎児への影響はなかった。
メソトリオン	
生殖毒性	生殖毒性物質として分類されない。
石油系炭化水素(鉱油)	
生殖毒性	データなし

安全データシート

アトカラ[®]S ジャンボ MX

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

二酸化ケイ素	
生殖毒性	データ不足のため分類できない。
酸化鉄	
生殖毒性	データ不足のため分類できない。
酸化カルシウム	
生殖毒性	データ不足のため分類できない。
酸化マグネシウム	
生殖毒性	データ不足のため分類できない。
芒硝	
生殖毒性	データ不足で分類できない。
ジオクチルスルホサキシネートナトリウム塩	
生殖毒性	生殖毒性 [区分 2] 追加区分 [授乳に対するまたは授乳を介した影響]
特定標的臓器毒性(単回ばく露) : 臓器の障害のおそれ(肺／呼吸器系, 消化管) 呼吸器への刺激のおそれ	
アジムスルフロン	
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	特定標的臓器毒性物質(単回ばく露)としては未分類。
ペノキスラム	
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	使用可能なデータの評価によれば、この物質は特定標的臓器毒性(単回ばく露)を示さない。
石油系炭化水素(鉱油)	
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	ラットに吸入暴露した試験により、肺に肉眼的、病理組織学的な急性変化(詳細不明)が用量依存的(1.51～5.05 mg/L)に見られたとの記述(IUCLID(2000))に基づき区分 2(肺)とした。
二酸化ケイ素	
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	シリカゲル(CAS 番号: 112926-00-8)は気道刺激性があるとの報告(SIDS(2006)、ECETOC JACC(2006))から、区分 3(気道刺激性)とした。
酸化鉄	
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	ヒトが本物質を吸入すると呼吸器症状や肺の炎症を生じることが十分考えられるため、区分 1(呼吸器系)とした。
酸化カルシウム	
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	本物質は水と反応して水酸化カルシウムを生じる。ヒトでは大量の水酸化カルシウムの短時間ばく露により肺水腫とショックを起こすとの記載があるため、区分 1(呼吸器系)とした。
酸化マグネシウム	
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分 3(気道刺激性)

安全データシート

アトカラ[®]S ジャンボ MX

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

芒硝	
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分 1 (消化管)
ジオクチルスルホサキシネートナトリウム塩	
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	データ不足のため分類できない。
特定標的臓器毒性(反復ばく露) : 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害 (皮膚, 肺/呼吸器系, 免疫系, 腎臓)	
アジムスフロン	
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	特定標的臓器毒性物質(反復ばく露)としては未分類。
ペノキスラム	
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	動物試験では腎臓、肝臓に影響することが報告されている。
メントリオン	
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	特定標的臓器毒性物質(反復ばく露)としては未分類。
石油系炭化水素(鉱油)	
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	長年にわたり鉱油、あるいはそのミストの暴露を受けたヒトで肺線維症、脂肪肺炎、肺の脂肪肉芽腫が報告され (ACGIH (2001)、IARC 33 (1984)、EHC 20 (1982))、また、疫学調査において切削油への職業暴露により重度の毛嚢炎の発生が報告されている (IARC 33 (1984)) ことに基づき区分 1 (肺、皮膚) とした。
二酸化ケイ素	
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	ヒトにおいて、石英、クリストバライトでは珪肺症が報告されている。また、実験動物においても石英、クリストバライトで線維形成性があることが報告されており、そのほか、石英では自己免疫疾患、慢性腎疾患及び無症状性の腎変性、溶融シリカで金属ヒューム熱のような回帰熱の報告がある (ACGIH (7th, 2006))。したがって、区分 1 (呼吸器系、免疫系、腎臓) とした。
酸化鉄	
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	ヒトにおいて吸入により肺への影響がみられていることから、区分 1 (呼吸器系) とした。
酸化カルシウム	
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	ヒトにおいて、生石灰の吸入による呼吸経路の炎症、鼻中隔の潰瘍及び穿孔の報告がある (ACGIH (7th, 2001))。したがって、区分 1 (呼吸器系) とした。
酸化マグネシウム	
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	データ不足のため分類できない。
芒硝	
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	吸入及び経口経路について区分に該当しない。
ジオクチルスルホサキシネートナトリウム塩	
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	データ不足のため分類できない。
誤えん有害性 : 分類できない	

安全データシート

アトカラ®S ジャンボ MX

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

12. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性 短期(急性) : 水生生物に有害
甲殻類の急性データに基づき、区分 3 とした。

水生環境有害性 長期(慢性) : 長期継続的影響によって水生生物に毒性
藻類の慢性データに基づき、区分 2 とした。

アトカラ®S ジャンボ MX	
LC50 - 魚 [1]	774 mg/L コイ
EC50 - 甲殻類 [1]	10.1 mg/L ミジンコ
ErC50 藻類	89.3 mg/L 緑藻
NOEC 藻類 慢性	0.318 mg/L 緑藻 NOErC (0-72h)

残留性・分解性

アトカラ®S ジャンボ MX	
残留性・分解性	データなし

生体蓄積性

アトカラ®S ジャンボ MX	
生体蓄積性	データなし

土壤中の移動性

アトカラ®S ジャンボ MX	
土壤中の移動性	データなし

オゾン層への有害性

オゾン層への有害性 : 分類できない

13. 廃棄上の注意

化学品(残余廃棄物)、当該化学品が付着している汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報
推奨製品/梱包処分 : 固体廃棄物については適用法令を遵守する。
管轄当局の規制に準拠して廃棄する。

残余廃棄物 : 都道府県知事等の許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託し、関係法令を遵守して
適正に処理すること。
廃棄処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上処理を委託
すること。

汚染容器及び包装 : 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去する。都道府県知事等の許可を受け
た専門の廃棄物処理業者に処理を委託すること。

地域の廃棄規則 : 管轄当局の規制に準拠して廃棄する。

推奨下水処理 : 管轄当局の規制に準拠して廃棄する。

追加情報 : 空の容器を再利用しないこと。

安全データシート

アトカラ[®]S ジャンボ MX

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

14. 輸送上の注意

UN RTDG に準ずる

国際規制

国連勧告(UN RTDG)

国連番号(UN RTDG) : 3077
正式品名(UN RTDG) : 環境有害物質(固体)(アジムスルフロン／ペノキスラム／メソトリオン混合物)
容器等級(UN RTDG) : III
輸送危険物分類(UN RTDG) : 9
危険物ラベル(UN RTDG) : 9



クラス(UN RTDG) : 9
少量危険物(UN RTDG) : 5 kg
微量危険物(UN RTDG) : E1
包装指令(UN RTDG) : P002、IBC08、LP02
特別包装規定(UN RTDG) : PP12、B3
ポータブルタンク及びバルクコンテナ/要件(UN RTDG) : T1、BK2、BK3
ポータブルタンク及びバルクコンテナ/特別要件(UN RTDG) : TP33

MARPOL 73/78 附属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質
非該当

国内規制

海上規制情報 : 船舶安全法の規定に従う。
航空規制情報 : 航空法の規定に従う。
緊急時応急措置指針番号 : 171
その他の情報 : 補足情報なし

15. 適用法令

国内法令

労働安全衛生法 : 名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条第1項、施行令第18条第1号～第2号別表第9)
結晶質シリカ
酸化カルシウム
酸化鉄
鉱油
【改正後 令和7年4月1日以降】
名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条第1項、施行令第18条第2号～第3号、安衛則第30条別表第2)
硫酸ナトリウム
【改正後 令和8年4月1日以降】

安全データシート

アトカラ® S ジャンボ MX

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条第1項、施行令第18条第2号～第3号、安衛則第30条別表第2)

ナトリウム＝1, 4－ビス[(2－エチルヘキシル)オキシ]－1, 4－ジオキソブタン－2－スルホナート

酸化マグネシウム

名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2第1項、施行令第18条の2第1号～第2号別表第9)

結晶質シリカ(政令番号: 165 の 2) (22%)

酸化カルシウム(政令番号: 190) (1.9%)

酸化鉄(政令番号: 192) (1.9%)

鉱油(政令番号: 168) (42%)

【改正後 令和7年4月1日以降】

名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2第1項、施行令第18条の2第2号～第3号、安衛則第34条の2別表第2)

硫酸ナトリウム(4.0%)

【改正後 令和8年4月1日以降】

名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2第1項、施行令第18条の2第2号～第3号、安衛則第34条の2別表第2)

ナトリウム＝1, 4－ビス[(2－エチルヘキシル)オキシ]－1, 4－ジオキソブタン－2－スルホナート(1.4%)

酸化マグネシウム(9.2%)

がん原性物質(安衛則第577条の2第5項、令和4年12月26日告示第371号、令和4年12月26日基発1226第4号)

鉱油(未精製油又は軽度処理油)

結晶質シリカ

皮膚等障害化学物質等・皮膚刺激性有害物質(安衛則第594条の2第1項、令和4年5月31日基発0531第9号、令和5年7月4日基発0704第1号・4該当物質の一覧)

生石灰(別名酸化カルシウム)

毒物及び劇物取締法

: 非該当

消防法

: 非危険物

船舶安全法

: 有害性物質(危規則第2, 3条危険物告示別表第1)

航空法

: その他の有害物質(施行規則第194条危険物告示別表第1)

化学物質排出把握管理促進法(PRTR 法)

: 非該当

農薬取締法

: 登録番号第 23866 号

じん肺法

: 法第2条、施行規則第2条別表粉じん作業

シリカ

アルミナ

ケイソウ土

16. その他の情報

アトカラは三井化学クロップ & ライフソリューション株式会社の登録商標です。

水溶性パック入り剤について: 本安全データシート の情報は、内容物のデータに基づくものです。

安全データシート

アトカラ[®]S ジャンボ MX

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

免責条項 当該シートに記載されている情報は現時点で入手した資料に基づいて作成しております。記載のデータ及び評価については必ずしも十分ではありませんので、取扱いには注意して下さい。含有量、物理的及び化学的性質、危険有害性等の記載内容は情報提供であり、いかなる保証をなすものではありません。

また、製品の取扱い、使用、保管または廃棄条件は当社の管理外であり、我々の認知するところではないことがある為、製品の取扱い、使用、保管または廃棄によって生じる損失、損害または費用に対する責任は、直接・間接を問わず一切負いかねます。

なお、当該シートは本製品にのみ適用され、本製品がその他の製品の成分として使用される場合は、当該シートに記載されている情報が適用されないことがありますので、ご注意の上、お取り扱い願います。